

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中山 長藤  
 直通：092-643-3597  
 内線：3066

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第36週（令和6年9月2日～令和6年9月8日）

福岡県感染症情報センター

### ■ コメント

- 第36週は、水痘（みずぼうそう）の報告が47件あり、前週に比べ2.76倍増加しました。水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスによる発疹性疾患で、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込んだ場合や、水疱・のう疱（粘度のある液体が含まれる水疱）の排出物に接触した場合に感染します。潜伏期間は約2週間で、発疹や発熱が認められ、紅斑、水疱、のう疱を経てかさぶたになり、治るとされています。石けんや流水による手洗い等の基本的な感染対策を心がけ、気になる症状がある場合は、かかりつけ医等の医療機関に電話で相談の上、受診してください。
- 福岡県感染症情報ホームページ([https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	17	620	257	10,161
細菌性赤痢	1	1	6	50
腸管出血性大腸菌感染症	5	110	139	2,209
レジオネラ症	2	46	43	1,437
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	85	45	1,378
クリプトスポリジウム症	1	1	0	15
後天性免疫不全症候群	3	40	8	659
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	23	14	449
侵襲性肺炎球菌感染症	1	75	18	1,733
梅毒	24	579	228	9,513
百日咳	5	75	92	1,317

### ■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	598	3.02	0.69	36,891	7.46
インフルエンザ	37	0.19	0.46	1,874	0.38
RSウイルス感染症	94	0.78	0.93	2,039	0.65
咽頭結膜熱	38	0.32	1.36	823	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	444	3.70	0.98	5,501	1.75
感染性胃腸炎	398	3.32	0.91	8,241	2.63
水痘	47	0.39	2.76	385	0.12
手足口病（警報レベル）	622	5.18	1.10	17,872	5.70
伝染性紅斑	2	0.02	0.25	500	0.16
突発性発しん	42	0.35	0.95	924	0.29
ヘルパンギーナ	91	0.76	0.87	2,561	0.82
流行性耳下腺炎	5	0.04	0.71	112	0.04
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	13	0.02
流行性角結膜炎	8	0.31	1.14	329	0.47
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	15	0.03
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	27	1.80	1.42	569	1.18
クラミジア肺炎	0	0.00	-	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。